



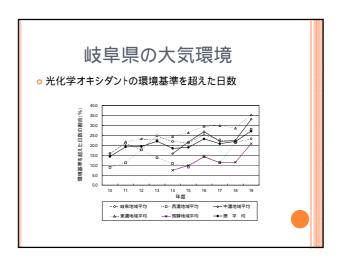
岐阜県の大気環境

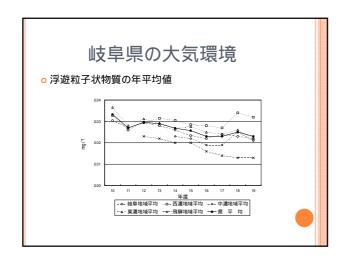
○ 平成19年度の主な大気汚染物質の状況

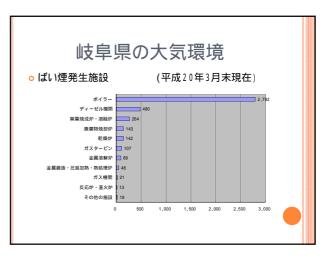
二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素については、 すべての測定局で環境基準を達成している。

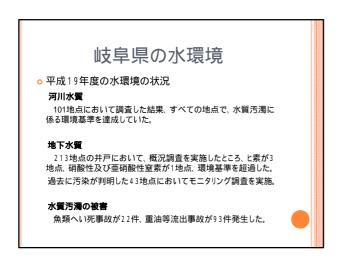
光化学オキシダントについては、すべての測定局において環境基準を超える日が見られた。

浮遊粒子状物質については、土岐測定局において、 日平均値が0.10mg/m3を超えた日が3日間連続したため、環境基準の長期的評価に不適合となった。

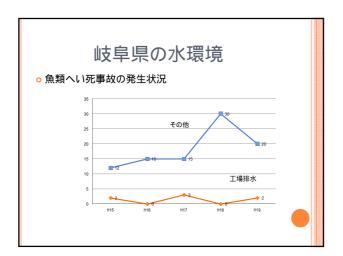




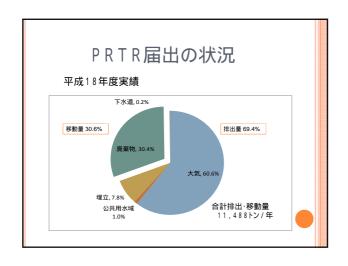


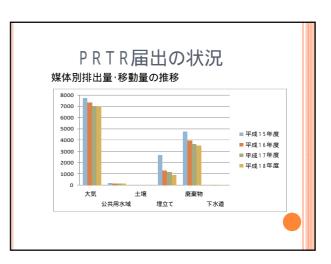


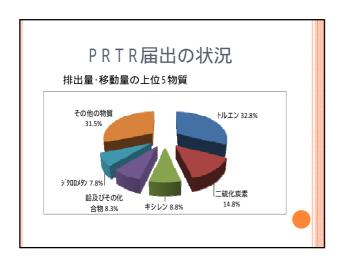














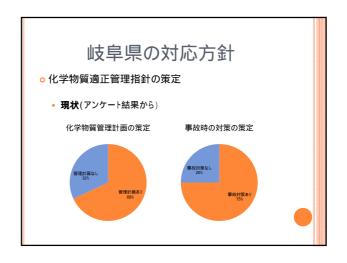
 VOCの排出制減

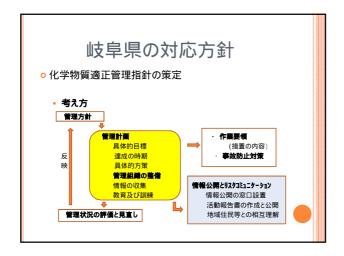
 ・ 揮発性有機化合物(VOC)排出規制について 大気汚染防止法の改正(平成18年4月1日)

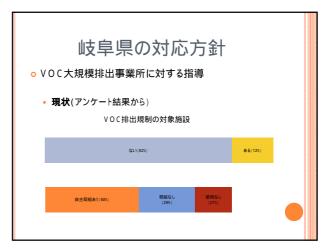
 「法規制」と業界の「自主規制」を組み合わせて、 VOCの大気排出量を削減する。

 目標: 平成22年度までに、平成12年度の 大気排出量に対して3割程度削減

 達成できなければ、平成23年度に法の見直し







岐阜県の対応方針 ・VOC大規模排出事業所に対する指導 ・対策 ・事業所の自主的取組を推進するための研修 ・PRTRの県内での排出上位物質を大量に排出している事業所への指導

